

地協介護福祉事業管理者セミナー (3/15~16) に参加して

ペープサイト劇「アベさんとフミさん」では、介護保険制度改定により、介護予防の利用者が十分なサービスを受けられなくなることをわかりやすく説明していた。また、「2015年度介護報酬改訂の動向について」説明して頂き、介護保険見直しの内容について知ることができた。研修「コミュニケーション力を高めるコーチングについて」は、実際のコミュニケーションを通して悩みを打ち明け、受け止めてもらうことで前向きな気持ちになれた。

2日目の分散会では6グループに分かれ、選ばれる事業所や質の向上、利用者確保の取り組み、介護ウェブの取り組み等について交流した。第4分散会（訪問看護）では、収益を上げる取り組みとして、訪問時間30分を20%以下に抑え1時間訪問を増やすために利用者・家族、ケアマネジャーにサービスの必要性を理解してもらうこと、超過勤務を減らすために時差出勤をしていることが参考になった。また、訪問看護のリハビリは要望が多く、機能維持ができ、収益アップにつながっていることがわかった。24時間携帯電話当番の負担の軽減として、1日毎に交替し週末を分担するなど工夫していた。

(訪問看護ステーションみき 山下光代)



介護事業所管理者達がいかにして、利用者及びヘルパー確保しながら、大変な思いで毎日の訪問業務をこなしているのかが分散会でよく分かりました。参加してよかったと思います。これからも交流を図り、今後の業務に活かして生きたいと思いました。

(ヘルパーステーション虹の里 松下初子)

同形態のサービス事業者の話聞く機会がない中、今後は交流が図れるようになれそうなので、サービス提供内容や業務改善などの他事業所の取り組みが直接とれる関係が築けそうです。

(デイサービス協同 渡辺志保)

京都府知事選挙支援 (3/21~22) に行ってきました！

3/21(金)~22(土)の休日を利用して、4月6日投票で戦われている京都府知事選で京都民医連会長の尾崎先生の支援に行ってきました。尾崎先生はベトナムの障害児支援を10年余りにわたってボランティアで行っており、その関係で私も応援しています。

府知事選の最大の争点は、「国の悪政から府民の生活を守る」というものです。投票日の4月6日は、消費税が8%になって最初の大型選挙です。相手の山田前知事は「消費税増税・TPP 妥結・原発再稼働」すべて賛成で、全国知事会長として安倍政権のお先棒を担っている候補です。それに対し尾崎候補は「京都府民の生活を守るためその大元である国の悪性にきっぱり No を突き付けよう」と「京都から世直しを！」と訴えています。この主張に保険医協会理事長、前副知事、建設業協会、宗教者と大勢の京都府を代表する人々から賛同を得ています。

尾崎先生は民医連の小児科医30年で、府知事選立候補の動機も「経済格差による子どもの発達の格差は許せない」と子供を守る小児科医としてのものでした。京都の教育は40人学級、子どもの医療費無料化は小学校3年までと、かつての京都府を知るものにとっては驚きの現状です。尾崎先生は立候補に当たって随分と悩みましたが、子どもさんたちの「誰にでもできることではないから、やったら」との言葉に後押しされて決意されたそうです(奥さんの患者会での訴えより)。



私たち夫婦が支援に行った両日は、沖縄(4人)・鹿児島(2人)・広島・千葉、そして全日本民医連から藤末会長、長瀬副会長等が支援に入っています。支援行動は、21日はこどもクリニックの診療圏をメガホンを持って宣伝、翌22日の午前は電話による支持の訴え、そして午後にはまたメガホンの宣伝です。電話での支持お願いはとても良い反応でした。

職員の皆さんからお預かりしたカンパと寄せ書きはしっかり京都民医連に届けました。消費税増税、TPP 妥結、原発再稼働などを許さないため、京都の友人・知人に尾崎候補の支援をお願いいたします。

(かがわ保健企画 高安富男)